新学習指導要領に対応した簡単な単元計画の構造図

① 単元名	中学校 第1学年 係	と健分野「心身の発達と心の健康」	授業の計画の想定					評価規準、評価機会の想定			
② 指導内容の概要	③ 学習指導要領の内容	④ 学習指導要領解説の記載内容	⑤ 具体の指導項	⑥ 発問のイメージ	時間	時間	授業展開のアイデア	教材	関心・意欲・態度	思考·判断	知識・理解
(1)心身の 機能の発達 と心の健理 について理 解できるよう にする。	は器育に様にすがるあい、、機達期に	身体の発育・発達には、 骨や筋肉、肺や心臓など の器官が急速に発育し、 呼吸器系、循環器系成 呼吸機能が発達するその機能が充きまた、その時 があること、また、人によっ て違いがあることを理 できるようにする。	〇体の各署官はど のように発育・発達 するか理解する。 〇望ましい発育・名 達のためにどれなことに気を付けたら よいか考える。	7年間に最も伸びたのはいつだろう	1	10 20 30 40	本第の概要 東側 ① 第2条首を選邦について理解する。 参照 ② ・ クレーブの声圧を掲載する。 参照 ② 4つの型について理解する。 ・ 発照 ② ・ はまい・余音・発達のための生活について考え、発 表する。	教科書、ノート、フワークシートに本 アワークシートに本 所の内容に沿っ て作成したも の)、生徒が作成した発養料、 パワーポイントに よるスライド資料	望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、生活の実戦への意欲をもっている。		思春期は、身長や体重が 急速に発育する時期に当た ることを言ったり書き出した りしている。 体の各器官は、年齢ととも に発育・発達するが、その 時期や程度には個人差が あることこと、各器官によっ ても違いがあることを言った り書き出したりしている。
	(1)ア 発育・発や の時程度 には、個 差があるこ と。		○呼吸器・循環器 はどのように一条達 するか理解する。 ○呼吸数や脈拍数 などと呼吸機・脈指数 などと呼吸機・ 著の発達の関係を 考える。	「私たちが生きていくうえで必要な解表は、どのような経路を通った。体の中に取り入れられるだろうか。 で呼吸数や肺活とは、年齢が進むにつれて、どのように変化するだろうか。 ではでからように変化するだろうか。 では、どんなではないであった。 ではないでは、どんないではないであった。 では、どのように変化するだろうか。 では、どのように変化するだろうか。 できないように変化するだろうか。 できてのようた変化するだろうか。 できているでは、	2	10 20 30 40	前時の個別返りと本語の概要 東側 ① 「中級機関施士が又交換について開催する。 単級 ② 「仮有書の資料を見てグループで考えをまとめる。 中級の発達について開催する。 会際 ② ・機能・急速 ② ・機能・急速 ② ・機能・急速 ② ・機能・急速 ② ・機能・急速 ③ ・機能・急速 ⑤ ・機能・急速 ○ ・機能・急速 ○ ・機能・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	教科書、ノート、 ワークシート(本 時の内容に沿っ て作成したも の)、生徒が作成 した発表資料トに よるスライド資料		学習したことを基に、 自分に適した運動につ いて考えようとしている。	呼吸器系、循環器の仕組 みを知るとともに、年前に 伴って発達すること、その発 遠は呼吸数や肺活量、脈拍 数などで知ることができるこ とを言ったり書き出したりして いる。 呼吸器・循環器の機能を発 遠させるには、持久力を高め る運動が効果的であることを 言ったり書き出したりしてい
	には、内分に必の動き生殖にかかれる成熟をあること。ま	思春期には、下垂体から 分泌される性腺刺激ホル モンの働きにより生殖器 の発育とともに生殖機能 が発達し、男子では射 精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにす熟 る。また、身体的な成熟	〇思春期の体の変 化や月経、射精、 妊娠は、どんな仕 組みで起こるか理 の月経や射精の仕 組みとその意味に ついて考える。	①思春期になると、なぜこのような 変化が現れてくるかについて考えて みよう。 ②排卵と月経は、どんな仕組みで起 ごう月経周期から、排卵日を予想する ことができる。排卵が月経の起こる 何日前に起こるのか考えてみよう。	3	10 20 30 40	前時の張り返りと本時の概要 乗機 ① 性ホルモンの分泌について理解する。 参照 ② 「資料を使って研究と同様のよういて説明す」 参照 ③ ・ 数料値のエクサウイズを使って考える。 ・ 思奇期の体の変化や、月経、射精、妊娠につ いてまとかる。	教科書、ノート、 ワークシート(本 時の内容に沿っ て作成したもの、生徒が作成 した発表が、パワーポイントに よるスライド資料	思春期の体の変化について、自分自身の問題としてと らえようとしている。		思春期には、性ホルモン の働きによって生殖機能が 成熟し、排卵や月経が起こ ることとその仕組みを言った り書き出したりしている。
		に伴う性的な発達に対応し、性衝動が生じたり、異性への関心などが高異性でりまったなどから異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。	〇男子では射精列 女子では月接列 ちれ、妊娠が可能 になることを理解す る。	①射精はどのような仕組みで起こる のだろうか。 ②受精と妊娠はどのような仕組みで 起こるのだろうか。 ③排卵や月経、射精が起こるように なったということは、どういうこと を意味しているのだろうか。	4	10 20 30 40	前時の極り張りと本時の極電 東側 ① ①射精や月経の起こるしく外について理解す 最間 ② ・選邦を使って受解と妊娠について説明する。同様に 相など経過について説明する。同様に 相など経過について説明する。 グループで説し合て発表する。 受教と妊娠についての仕組みや、排脈や月経 射精が起こるようになったことの意味を理解す る。	教科書、ノート、 ワーケシート(本 時の内容に沿っ て作成したも の)、生徒が作成 した発表資料、 パワーポインド貫 よるスライド資料		排卵や月経、射精が起こ るようになることの意味につ いて考えようとしている。	受精や妊娠の仕組みつい で言ったり書き出したりして いる。
		なお、指導にあたっては、発達の段階を踏まえること、学体全体で共通 ること、学体と体で共通 の理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。	○ 思春期の性意識 の変化と、性に関 する適切な態度や 行動の選択につい て理解する。 ○ 位情報への対処 について考える。	についての資料からどんなことがわか るだろうか。 ②こうした性意識は、みんな同じなの	5	10 20 30 40	前時の最少減少は本時の概要 発理 ① を料理のファームアングを使って考える。 変知 ② グループで話し合い、意見を欠論する。 発理 ③ パループで信頼できる情報と、信頼できない情報に 表現 ④ 参科者の行法用しようを使って考える。 性情報の対処法についてまとめる。	教科書、ノート、 ワーウシート(本 時の内容に沿っ て作成したも の)、生徒が作成 した発表資料・ パワーポイ・資料		自分自身の性や心の変化を見つめるとともに、他者と の望ましい関係について考えている。 性情報にどう対処すべき かについて考えている。	思春期の性意識の変化について言ったり書き出したりしている。
⑥内容の取扱い						教師の	の働きかけ 押えるべき知識の 知識を活用す 動物		関心・意欲・態度、思考・判断は、知識・理解となるように設定する(1時間に3観点そろわな	合わせても2以下に いように)。	知識・理解は、毎時のワークシート や小テストから評